

平成 24 年度・工学研究科社会基盤工学専攻博士課程(前期課程)を受験するみなさんへ 「名古屋大学国際環境人材育成プログラム」の案内

名古屋大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻では、環境学研究科都市環境学専攻空間環境学コースと協力して、「名古屋大学国際環境人材育成プログラム」を実施しています。本プログラムは、アジア・アフリカ諸国が直面する様々な環境問題の解決を担う次世代の環境リーダーの育成を目的とするものです。

下記の説明および資料を参照の上、参加を希望する場合には、必要な手続きをとってください。

対象学生

博士課程(前期課程)に入学する留学生および日本人学生(上記 2 専攻合計で各年度、留学生 10 名程度および日本人 5 名程度を選考)。

プログラムの概要

※詳細については、ホームページ(<http://www.envleaders.env.nagoya-u.ac.jp>)を参照のこと。

- 地球温暖化対策、水・廃棄物対策、生物多様性保全の 3 分野を柱に、問題事象の理解、対策技術の理解・修得、制度設計・政策運営の能力獲得のための教育を実施します。プログラム学生は、3 分野のうち 1 つを選択します。講義等は英語で行います。
- 地域の企業、NGO、海外の大学、国際機関などの協力を得て、インターンシップ(グローバル研究インターンシップ)を実施します。旅費の一部を支援します。
- 留学生と日本人が相互に啓発しあいながら共に学びます。これにより、国際的コミュニケーション能力を向上させることができます。
- 一定数の優秀な留学生に対しては、入学金・授業料を免除します(2 年間)。
- プログラム所定の学業を修めた学生には、修士学位に加えて、プログラム修了認定証を授与します。
- 博士課程後期課程への進学の日も開かれています。

参加希望から選考、参加までの流れ

- ① 「社会基盤工学専攻(前期課程)入学試験専門部門選択調査用紙」の参加希望欄に「希望する」と回答してください。
(該当箇所に回答がない場合は、選考の対象にならないので注意してください)
- ② 入試合否発表後、参加希望者のうち合格者を対象に英語小論文を課します。また、必要に応じて面接を実施します。入試成績、英語能力、意欲などを総合的に評価して、プログラム学生を選考します。
- ③ プログラムから選考結果を通知します。
- ④ 入学時に、ガイダンスを実施します。
※選考案内を含むプログラムからの連絡は、基本的にメールで行います。参加希望の受験者は必ず、「調査用紙」に確実に受信できるメールアドレスを記載してください。特に入試合否発表前後は、定期的にメールを確認してください。

注意事項

- プログラム学生は、プログラム指定科目(指導教員によるセミナー科目 8 単位およびグローバル研究インターンシップ 2 単位を含む計 24 単位)を履修することが求められます(学位取得に必要な単位としてカウントできます)。
- プログラム学生は通常の学生と同様に、社会基盤工学専攻の教員の中から、自分の専門や興味にあわせて指導教員を自由に希望することができ、それぞれの研究室に所属して専門分野について学びながら、プログラム履修を進めます。プログラム参加については、事前に希望指導教員に相談することを強く勧めます。
- プログラムが柱とする 3 分野と自分の研究テーマが必ずしも一致してなくても、プログラムに参加できます。実際に、様々な土木工学分野の学生が参加しています。
- プログラムが提供する科目は一部を除いて開放されています。したがって、プログラム参加学生以外の一般学生も受講可能です。

問い合わせ先: 名古屋大学国際環境人材育成プログラム
〒464-8601 名古屋市千種区不老町 D2-1(510) 環境総合館 411 号室
E-mail: envleaders@urban.env.nagoya-u.ac.jp